

[休眠預金活用事業]

公募前研修 情報公開・広報の留意点

JANPIA 企画広報部



本日のゴール 9つの留意点を知る

■ 実行団体の公募で

- ・ 「情報公開が求められている事項」 1・2・3！

■■ 確認事項 1・2・3！

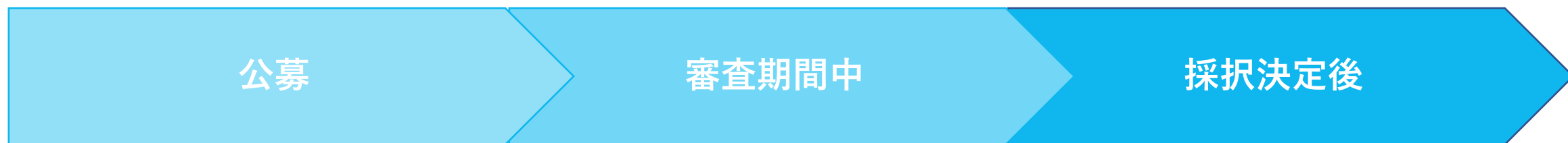
■■■ お願い 1・2・3

実行団体の公募で

「情報公開が求められている事項」

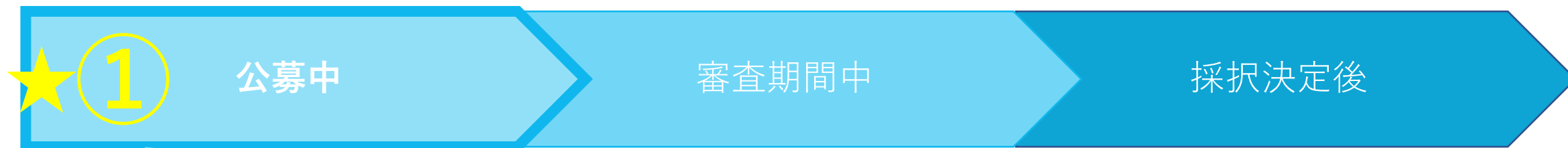
・ 1・2・3！

「実行団体の公募」 資金分配団体で実施する情報公開



「実行団体の公募」の各プロセスで求められている
情報公開について、ご説明します！

「実行団体の公募」 資金分配団体で実施する情報公開



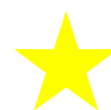
資金提供契約第17条 3

実行団体の選定にあたり、その選定の基準及び手続並びに助成の申請及び決定手続、提出すべき書類、公募及び選定の結果の公表に関する事項、資金提供契約に盛り込む主な事項その他の助成の方法を定めた公募要領その他の公募に必要な書類を策定し、乙が実行団体を監督するに当たり必要な事項が明記されていることに関する甲の確認を経て、これを乙の Web サイト上で広く一般に公表するものとする

公募要領や公募に必要な書類を策定



(必要事項の漏れがないかのJANPIAの確認)



資金分配団体のウェブサイトで
公募に必要な書類と公表！

「実行団体の公募」 資金分配団体で実施する情報公開



資金提供契約第17条 2

乙は、実行団体の公募に申請した団体の情報（団体名・所在地・事業名・事業概要）を、募集終了時に乙の Web サイト上で公表するものとする

実行団体公募 申請受付終了



資金分配団体のウェブサイト
申請団体の情報を公表

「実行団体の公募」 JANPIAでの広報・情報公開

公募前



審査期間中

採択決定後

資金分配団体で実施される「**申請団体の情報の公表**」については、皆さんが公開した情報に、JANPIAサイトの「**実行団体の公募**」のページからリンクを張っています。

認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ

子ども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業
多世代がつながり子どもを見守るまちづくりを目指して

対象地域 全国

- 社会課題
- ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
 - ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
 - ③社会的孤立や差別の解消に向けた支援
 - ④安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

公募締切 2022年1月16日(日) 23:59 <終了>

公募情報 <https://musubie.org/news/4482/>

申請情報 以下URLよりご確認ください。
https://drive.google.com/file/d/1P-pUQ3mwIzh_2h5QNTxZ_haw1zukYIX4/view



団体ページ

「実行団体の公募」 資金分配団体で実施する情報公開

公募前

審査期間中

★ ③ 採択決定後

資金提供契約第18条 2

乙は、選定した実行団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、選定された各実行団体に対する助成の総額及び内訳並びにその算定根拠を、乙の Web サイト上で広く一般に公表しなければならない。ただし、公表にあたっては、当該実行団体の正当な権利 又は利益を損わないように配慮しなければならない。

2. 乙は、実行団体に選定しなかった各選定申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示すものとする。

実行団体の採択



★ 資金分配団体のウェブサイト
採択された実行団体の情報等を公表

情報発信の際は、
ハッシュタグ「#休眠預金活用」！

[ご参考] 「実行団体選定時情報公開チェック表」 について

近日中に、団体ページに、
「実行団体選定時 情報公開チェック表」を
アップします。

ご活用ください！

実行団体選定時情報公開チェック表について			
<p>・休眠預金活用事業では、実行団体の採択に関する情報を広く一般に公開することが求められています。（資金提供契約書「第4章 実行団体の選定・監督」より）</p> <p>・「申請団体」および「採択団体」の情報を御団体のHP上にて公表をお願いします。</p> <p>・この書類は、【資金提供契約で情報公開が求められている項目】をHPに掲載される際に、項目内容の確認用にご活用ください。</p>			
<p>【申請団体の公表（資金提供契約より）】</p> <p>第4章 実行団体の選定・監督（実行団体の選定）</p> <p>第17条</p> <p>2.</p> <p>乙は、実行団体の公募に申請した団体の情報（団体名・所在地・事業名・事業概要）を、募集終了時に乙のWebサイト上で公表するものとする。</p>		<p>【採択団体の公表（資金提供契約）】</p> <p>第4章 実行団体の選定・監督（実行団体の選定結果の開示）</p> <p>第18条</p> <p>1.</p> <p>乙は、選定した実行団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、選定された各実行団体に対する助成の総額及び内訳並びにその算定根拠を、乙のWebサイト上で広く一般に公表しなければならない。ただし、公表にあたっては、当該実行団体の正当な権</p>	
選定時公開項目チェック表【申請団体】		選定時公開項目チェック表【採択団体】	
①団体名		①選定過程 ※1	
②所在地		②団体名	
③事業名		③事業名	
④事業概要		④事業概要	
		⑤選定理由	
		⑥助成額（総額）	
		⑦助成額（内訳）	
		⑧算定根拠 ※2	
掲載のポイント！			
<p>※1 ①選定過程に関して</p> <p>選定過程を公表することにより、実行団体の選定が公正・公平に行われたことを示すことが目的です。</p> <p>公表の形は問いませんが、「公募の実施」「第三者の専門的知見を取り入れることができる会議体の組成と開示の実施」などがわかる形で選定過程をまとめ公表してください。</p> <p>-----</p> <p>〈以下、資金提供契約より抜粋〉</p> <p>第4章 実行団体の選定・監督</p> <p>（実行団体の選定）</p>			

実行団体の公募の通報事例

・

参考資料

【事例】 通報事例

〔通報内容〕

実行団体の採択に関して、「公募」という形をとっているが、資金分配団体が採択しようとしている団体が既に決まっているようだ。



〔対応〕

当該資金分配団体へ連絡、通報内容を伝達
(※通報者より、伝達していいとの許可応諾済)

★公募については透明性などに十分留意するように伝え、了解を得た

丁寧な情報公開・広報＝リスクを低減する

【参考資料】公募実施にあたって、参考となる資料

• 「データ集」

- 各資金分配団体の申請団体数や採択団体数、助成額などを一覧表示しています
(1.2 資金分配団体が実施する「実行団体の公募」) ([リンク](#))

• 「公募結果報告」

- 19年度通常枠 → [PDF公開 ([リンク](#))]
- 20年度通常枠 → [PDF公開 ([リンク](#))]
- 21年度通常枠 → [PDF公開 ([リンク](#))]

- 20年度コロナ枠 → [PDF公開 ([リンク](#))]

情報公開サイト、
近日オープン！

• 「資金分配団体の過去の公募ページ」

- 上述で気になる団体について、確認してみてください。

「データ集」

休眠預金活用事業の現況

〈データ集〉

2022年6月発行



2021年度事業報告書 別添用紙第

■ 2020年度通常枠

・ 2020年度通常枠の「実行団体の公募」では、292事業の申請があり、97事業が採択された。

	申請事業数 (件)	採択事業数 (件)	採択率 (%)	助成予定額 (万円)	1事業当たり助成予定額 (万円)		
					平均	最高	最低
2020年度通常枠全体	292	97	33.2	178,413	1,839	5,615	487
草の根活動支援事業 (全国)	64	29	45.3	41,186	1,420	2,200	592
NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ	13	4	30.8	12,735	3,183	3,906	1,477
一般社団法人 全国コミュニティ財団協会	1期	4	3	6600	2,200	2,200	2,200
	2期	2	1	2,200	2,200	2,200	2,200
NPO法人 地球と未来の環境基金	1期	16	4	2,930	732	733	731
	2期	4	1	731	731	731	731
公益財団法人原田積善会	8	5	62.5	10,040	2,008	2,042	1,998
公益財団法人 東近江三方よし基金 ※第二期は「うんなんコミュニティ財団」のみ	1期	13	7	5,950	850	1,200	649
	2期	4	4	3,165	791	965	592
草の根活動支援事業 (地域)	106	42	39.6	62,151	1,479	2,396	487
一般財団法人 大阪府人権協会	22	10	45.5	7,484	748	888	487
公益財団法人 オリオンビール奨学財団	9	4	44.4	9,081	2,270	2,396	2,102
一般財団法人 筑後川コミュニティ財団	5	2	40.0	3,645	1,822	1,842	1,803
財団法人 ちばのWA地域づくり基金	4	4	100.0	8,016	2,004	2,098	1,739
O法人 ひろしまNPOセンター	1期	16	6	7,775	1,295	1,785	786
	2期	3	1	892	892	892	892
財団法人 ふくしま百年基金	1期	8	2	3,848	1,924	2,000	1,848
	2期	4	2	4,169	2,084	2,093	2,076
一般NPO法人 富士山クラブ	8	5	62.5	6,085	1,307	1,575	1,062

全資金分配団体の、申請数、採択数、採択率、助成予定額などを一覧で公開中しています。

「データ集」

別紙 事業の詳細

別紙1-1	2019年度通常枠 資金分配団体 事業一覧(24 事業)
別紙1-2	2019年度通常枠 実行団体 事業一覧 (143事業)
別紙1-3	2020年度通常枠 資金分配団体 事業一覧(20 事業)
別紙1-4	2020年度通常枠 実行団体 事業一覧(97 事業)
別紙1-5	2021年度通常枠(第1回) 資金分配団体 事業一覧(11 事業)
別紙1-6	2021年度通常枠(第1回)実行団体 事業一覧(49 事業)
別紙1-7	2021年度通常枠(第2回) 資金分配団体 事業一覧(10 事業)
別紙2-1	2020年度コロナ枠(初回) 資金分配団体 事業一覧(20 事業)
別紙2-2	2020年度コロナ枠(初回) 実行団体 事業一覧(229 事業)
別紙2-3	2020年度コロナ枠(随時) 資金分配団体 事業一覧(16 事業)
別紙2-4	2020年度コロナ枠(随時) 実行団体 事業一覧(130 事業)
別紙2-5	2021年度コロナ枠 資金分配団体 事業一覧(15 事業)
別紙2-6	2021年度コロナ枠 実行団体 事業一覧(58 事業)

別紙で団体一覧を公開しています。

別紙1-6 2021年度通常枠(第1回) 実行団体 事業一覧(49事業)

No	団体名	所在地	事業名	対象地域	事業概要	助成予定額 (万円)
県の根拠活動支援事業(全国)						
認定特定非営利活動法人カタリバ						
1	みんなのすながわプロジェクト子どもサポーター部会	北海道	「本当の社会で生きる力を 育む子どもの居場所」創造 事業	北海道	適応指導教室がない砂川市で学校や行政とも連携しながら、放課後や不登校の子が昼間に来ることができる居場所を作り、生活支援や学習支援、仲間作り、探究学習、創作活動、キャリア教育、対話の場など個人に合わせた学びを実施。地域住民や近隣大学生、遠隔からもオンラインも活用し、子どもたちがより多くの仲間や大人と混ざり合いながら、困り事を解決し社会とのつながりを築く場とする。子どもも主体者となり一緒に場を作り上げていく中で、本当の社会で生きる力の獲得につなげる。また、家族のつながりや悩みもサポートしていく。	1,500
2	バリューシフト	青森県	ごのへラーニングセンター ～「Z世代×地域」における 価値共創を目指した場づく り～	青森県	青森県五戸町に、10代の子たちがいつでも来られて、安心していられるサードプレイスを整備する。自分の関心や目の前の課題をプロジェクトにして、アクションに移すマイプロの実施と伴走するプログラムをサードプレイスで実施。主体的に未来を切り拓く子を育む。サードプレイスに来るきっかけづくりとして、中学校との連携も行う。マイプロは外部のプログラムと連携し、アワードや報告会等への参加を目指して活動し、最終的にはマイプロを起点とした価値創造を推進するハブになるサービスラーニングセンターの実装化を目指す。	1,575
3	(NPO) SET	岩手県	持続可能なユースサード プレイス運営モデルづくり～ 岩手県岩手県北で生きる全 ての10代が育てられ、育て 合う好循環をここから～	岩手県	岩手県岩手郡岩手町の商店街の中心に、中高生の居場所となるサードプレイスを開く。そして、熱量の高い大学生や若手社会人が関わり深く地域に入り込み、探究活動(マイプロジェクト)に継続的に取り組めるエコシステムを構築することで、岩手県北の中高生が自ら意欲と創造性を育くむ場を運営する。さらに、岩手県北の自治体や学校、教育関係者らと連携協働することで、小規模自治体の人材育成における持続可能なユースコンソーシアムモデルを生み出し、東北全体へと広げていく。	1,575
4	こおりやま子ども若者ネット	福島県	総合支援型ユースセンター 事業～こおりやま広域圏子 ども若者ネットワークを活 かしたユニバーサルな社会 的包摂及び社会参画拠点づ くり～	福島県	当会はネットワーク組織として多様なステークホルダーとの繋がりがある。その繋がりを活かし、10代の貧困や就労、不登校・ひきこもりによる孤立や学習権の侵害、性、発達障がい等の様々な課題に対応できるユニバーサル支援拠点整備を行う。この拠点を余暇活動と社会参加・参画を基盤としたユースセンターづくりとして若者たちと共に取り組むことにより、郡山における社会的排除の解決と子ども若者の参加、自己実現、多様性を尊ぶ地域社会を目指す。	1,554

「公募結果報告」

様々な情報が報告されていますので、是非、ご確認ください。

・[公募説明会] 何回実施？、工夫したこと、よかったこと。課題。

・[審査] 第三者の意見をどのように取り入れた？、利益相反はどのように確認した？、申請団体との面談はどのように実施した？

など

II.公募プロセス/説明会・個別相談会

説明会の告知期間の合計日数 ※告知開始～説明会終了

(2021/10/20～2021/12/3 日)

説明会への参加団体数

(144 団体)

説明会の実施回数

(2 回)

個別相談会の実施回数 ※電話相談も含む

(31-40 回)

評価に関する説明の実施有無

有

評価に関する説明の主な実施者

資金分配団体のプログラムオフィサー

評価に関する説明の主な実施者で「その他」を選んだ場合はこちらに記載してください。

(文字数上限256字)

説明会・個別相談会で工夫したこと、よかったこと

説明会：

- ・アーカイブ配信も行なったため、都合が合わない場合でも視聴していただけた。
- ・ウェビナーでの配信としたため、顔が見えない安心感を生み出せた。
- ・事前と当日の質疑応答の時間を長めに設け、参加者の理解促進を促せた。

個別相談会：

- ・原則2人体制での対応としたため、丁寧に対応ができた。

説明会・個別相談会の課題

説明会：

- ・特になし。

個別相談会：

- ・開催が1団体につき1回にとどまったため、資料のブラッシュアップまでできず申請を断念した団体がいた。
- ・個別相談会の開催後、メールによる問い合わせが直前まで生じた（期限を設ければよかった）。

II. 公募プロセス/実行団体の募集

募集の告知期間の合計日数 ※告知開始～募集受付開始

(複数回公募を行う場合には合計値を記載してください)

(90 日)

募集の受付期間の合計日数 (複数回公募を行う場合には合計値を記載してください)

(78 日)

募集の告知媒体の種類 (複数選択可能)

☒ウェブサイト ☒SNS ☒メール ☐チラシ ☒関連組織を通じて広報 ☒プレスリリース ☐その他

実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと

募集期間前にキックオフイベントの実施やメールマガジンの募集を行なったことで母集団形成ができた。

- ・コンシェルジュチーム構成団体であるエディックと連携して様々な媒体で告知ができた。

実行団体の募集の課題

- ・申請資料が多いこともあって、申請を諦めてしまった団体がいた。

|| . 確認事項 1 ・ 2 ・ 3 !

確認 1 ・ シンボルマークについて

①シンボルマークの掲出

- ・シンボルマークの掲出をお願いします。

(資-J) 資金提供契約第28条 1

乙は本事業を実施する又は実行団体をして民間公益事業を実施させるにあたり、休眠預金等交付金に係る資金を活用して実施する事業であることを示すため、**甲が指定するシンボルマークを表示**し、又は、**実行団体をして表示させる**ものとする

【データはこちら】

JANPIAサイトトップページ>団体専用>休眠預金を活用した事業シンボルマーク関連情報

<https://www.janpia.or.jp/dantai/symbol/>



休眠預金を活用した事業です

情報発信時のシンボルマークの活用例



採択結果の公表・メディア発表



プレスリリースやウェブサイトなどでの活用



※バックパネル、貸出可能です!

【ご参考】

シンボルマークデータ格納場所

JANPIA
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

JANPIAとは 休眠預金等の活用 資金分配団体の公募 実行団体の公募 評価 事業情報 English >

2022年度
実行団体の
公募関連情報
—通常枠—

休眠預金等
活用とは

休眠預金活用事業
情報公開

休眠預金活用
事業サイト

団体専用

令和5年梅雨前線による大雨により被害を受けられました皆さまに、心からお見舞い申し上げます。
(2023年7月)

【ご参考】 シンボルマークデータ格納場所

PWはかかっておらず、
実行団体の方も入れます。



● 休眠預金を活用した事業シンボルマーク関連情報 ●

このページでは、休眠預金を活用した事業を実施する際に使用するシンボルマークに関連するデータのダウンロード、シール・看板の申込を行っています。

規程・手引き

休眠預金を活用した事業であることを示すシンボルマークは「シンボルマーク使用規定」の定めを遵守し、「シンボルマーク利用の手引き」に沿って使用してください。

- シンボルマーク使用規程 PDF(93KB) [ダウンロード](#)
- シンボルマーク利用の手引き PDF(12.1MB) [ダウンロード](#)
- シンボルマーク使用の説明会 [動画リンク](#)
- シンボルマーク使用【Q&A】 PDF(254KB) [ダウンロード](#)

データ

リンクバナー

シールの申込

屋外用シールの申込

看板の申込

シール・看板申込フォーム

★シールの追加

(初回は、助成システムに登録があった団体にJANPIAから送付。初回送付分がなくなった場合など、こちらで申込。)

★屋外用シール（防水）

(お申込みいただいた団体に送付)



★看板

(お申込みいただいた団体に送付※一部有料)



① アルミ複合看板 穴あり



② アルミ複合看板 穴なし



③ 額縁型木製看板



④ レーザー加工木製看板 小



⑤ レーザー加工木製看板 大

確認 2 ・ 規程類の公開について

②規程類の公開

- 規程類の公開をお願いします。

(資一実) 資金提供契約第14条3

3. 乙は、第1項第2号及び第4号に定める**ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程を、乙のWebサイト上等で広く一般に公開する**ものとし、変更があった場合は甲に遅滞なく報告するものとする。

公開は、整った規程から順次進めてください。

特に、「実行団体の公募」申請時にご提出いただく「ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書」の**ステップ1【資金提供契約書締結時までに確認をしておきたい事項】**に関する規程類については、実行団体に採択されたら、できるだけ速やかに公開してください。



【ご参考】

ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書

ステップ1

【資金提供契約書締結時まで に確認をしておきたい事項】

実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制整備について

- 申請団体により、経験や専門性を有するメンバーの有無、法人形態などその特性は様々です。
- 一方で、休眠預金等活用事業としての説明責任を果たすため、実効性のある事業運営と適切な資金管理ができるガバナンス・コンプライアンス体制の確保は必須の条件であると考えます。
- このため、①契約締結までに、すべての実行団体に対応いただきたい事項、②事業実施期間中に、段階的にお取組みいただく事項の2段階に分けて整備を進めるという考え方を21年度の業務改善PTでの検討結果として運用を進めています。

○ 契約締結時までに整備、○一部を契約締結時まで、残りを契約期間中に整備、△ 契約期間中に整備

① 契約締結時までに、休眠預金の資金を適切に扱っていただくために、すべての実行団体に対応いただきたい事項



② 事業実施期間中に、段階的にお取組みいただく事項

- ※ 考慮される団体の特性
- ・ 助成実績の経験値（有無、年数、助成額の規模感）
 - ・ 専門性を有するメンバーの在籍の有無（経理の専任者の有無、団体運営の実務経験の有無の在籍の有無）
 - ・ 団体の法的ステータス（法人形態、任意団体等）
 - ・ 団体運営をサポートする体制・現状（業務の外部委託等の状況）など

ガバナンス・コンプライアンスに関し整備する事項	実行団体の整備義務
社員総会・評議員会の運営に関する事項	○
理事会の構成に関する事項 ※ 理事会を設置していない場合は不要	○
理事会の運営に関する事項	○
経理に関する事項	○
コンプライアンスに関する事項 ※ 契約締結時までにコンプライアンス施策を検討・実施する責任者を設置	○
内部通報者保護に関する事項 ※ 自団体で整備困難な場合、JANPIAのヘルプライン窓口を活用可能	○
利益相反防止に関する事項	△
倫理に関する事項	△
理事の職務権限に関する事項	△
監事の監督に関する事項	△
組織（事務局）に関する事項	△
文書管理に関する事項	△
情報公開に関する事項	△
リスク管理に関する事項	△
役員及び評議員の報酬等に関する事項	△
職員の給与等に関する事項	△

実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制整備について

ひな形●

申請時提出資料

ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書（実行団体）

事業名:

団体名:

ガバナンス・コンプライアンス体制の現況（申請時）について、適切な資金管理をはじめ事業実施に必要な意思決定や進捗管理等に必要なとなるルール等の整備状況を本確認書にて申告いただきます。

■ ステップ1

以下について、申請時点での現況を確認します。
採択に至った場合には、以下の要素を確認しつつ事業を進めていくこととなるため、申請時に事前に確認を行うものです。
なお、採択に至った場合に、現況を踏まえてさらに体制強化を図る予定がある場合はその内容についてご記載ください。

【資金提供契約書締結時までに確認をしておきたい事項】

1. 適切な資金管理を実現する体制について

Q1. 資金管理全般に関するルールが明確化されている場合、どのような形で明確化されているのかを具体的に記載ください。

例) 事務処理ガイドライン、手順書などに沿った実務運用など

※ 単にガイドラインや手順書、規程類が用意されているにとどまらない、実効性が確保されていることが重要です。

Q2. 経理担当者（入出金の実務を行う担当者）の現況（専任者の有無、常勤・非常勤、その他対応状況など）について記載ください。

※ 事業実施の当事者と資金の管理（出金処理などの管理実務）は分離されていた方が、適切性が向上すると考えられます。

例) 経理担当者は事務局に配置された職員（常勤）であり、事業実施担当者とは区別している。

2. 今回申請事業を事業実施期間中を通じて適切に実行できる体制の有無

Q3. 経理責任者による管理体制（経理担当者の実務を管理する体制）、理事会の運営など、組織としての意思決定の体制について記載してください。

例) 事務局長が経理責任者として経理事務を管理監督している。また、定款の規定に基づき理事会が設置され、理事会の理事の構成については特定の企業・団体等からの独立性を確保しており、社員総会は定款の規定に基づき適切に運用されている。

■ ステップ2

事業が採択された場合に、資金提供契約締結以降、段階的に対応が必要となる以下の事項についての現況の確認を行います。

【ご参考】

ガバナンス・コンプライアンス 基本規程（参考）

これを満たす規程の参考資料を団体ページに公開しています。資金分配団体が実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制の整備を支援する際の参考資料としてご利用ください。

[PDF](#) | [Word](#)

2022.4.22

ガバナンス・コンプライアンス基本規程（参考）

○本基本規程は、資金分配団体の参考に資するため JANPIA が提示した 2021 年度の実行団体公募要領（ひな形）様式 5 ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書に記載されている「■ステップ 1【資金提供契約締結時までに確認しておきたい事項】」について、その内容を具体的に示したのになりますので、資金分配団体が実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制の整備を支援する際の参考資料としてご利用ください。

●●●●（以下、この法人という。）は、ガバナンス・コンプライアンスに係る次の基本的事項を定め、この法人のすべての役職員は、これを遵守するものとする。

- 「●●●●」には貴団体名を入れてください。なお、法人格を有しない団体は、前文を含めて全ての「この法人」を「この団体」に置き換えてください。
- 団体の定款に以下の事項が規定されていれば、ここでの規定は任意です。
- 団体の根拠法令上、定めることが必須の事項もありますので、団体の根拠法令上の制限もご確認ください。

第1章 総会の運営に関する事項

- 「総会」については、一般（公益）財団法人は「総会」を「評議員会」、一般（公益）社団法人・NPO法人は「総会」を「社員総会」と置き換えてください。
- 総会の運営に関する事項は、団体の根拠法令において規定されている事項もありますが、法人内部の自律を徹底するため、定款以下の内部規程に定めることを求めています。

第1条（種別） この法人の総会は、通常総会及び臨時総会とする。

第2条（権能） 総会は、法令又は定款で定められた以下の事項について決議する。

- 理事会設置一般社団法人の社員総会では、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法」という。）に規定する事項および定款で定めた事項に限り決議をすることができます。（法 35①②）
- NPO 法人では、(1)定款の変更（NPO 法 25 条）、(2)解散（NPO 法 31 条）及び合併（NPO 法 34 条）が社員総会の決議事項です。ただし、それ以外にもモデル定款に倣い下記(3)～(13)を規定することも可能ですが、法人の実情に応じて、(3)～(12)は定款で理事会の決議事項にすることも可能です。
- 決議の事項は団体の状況に合わせて調整ください。
- 役員名や会議名（総会や理事等）は、団体の事業に併せて修正してください。また、監事に関する内容は、監事の設置がなければ記載は不要です。
- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併

規程類の公開は、
自団体のWebサイトにて行っていただくことが基本となります。

公開例としていくつかの団体をご紹介します。

▶ フードバンク愛知

[団体概要 | フードバンク愛知とは | フードバンク愛知 \(foodbank-aichi.org\)](https://foodbank-aichi.org/)

▶ 都岐沙羅パートナーズセンター

[DISCLOSURE - 都岐沙羅パートナーズセンター \(tsukisara.org\)](https://tsukisara.org/)

▶ 福岡子どもホスピスプロジェクト

[福岡子どもホスピスプロジェクトとは？ | 福岡子どもホスピスプロジェクト \(kodomo-hospice.com\)](https://kodomo-hospice.com/)

Q

所轄庁ホームページや日本財団のCANPAN等の
情報公開サイトを活用してもいいですか？



Answer

ご利用いただくことができます。

自団体Webサイトで直接公開していない場合でも、他組織が運営している「情報公開サイト」にて、これらの情報が公開されていることが自団体Webサイトで明確にされているときは、自団体Webサイトに公開されているものとみなします。

[情報公開サイトを使った公開方法]

〇〇団体Webサイト

最近の定款・規程类等・事業報告はこちらをご参照ください。(外部リンク)

情報公開サイトへリンク

情報公開サイト



〇〇規程



△△規程



××規程

・
・
・

自団体のWebサイトの団体概要のページなどに、**規程類等を掲載している情報公開サイトへのリンクを示す。**

**情報公開サイトの団体情報のページ等
を活用して掲載する**

※ファイルの掲載数に制限がある場合、規程類のファイルをひとまとめに圧縮ファイルとして掲載しても可とします。情報公開サイトのルールに則って掲載してください。

[お知らせ]

JANPIAが10月に立ち上げる

「休眠預金活用事業 情報公開サイト」

で、サイトがない団体は
規程の公開ができるようになる仕組みを作る予定です。

詳細ルールは検討中。

皆さんが実行団体の選定を終える頃には、
ルール化しているはず。お問い合わせください。

確認 3 ・ 情報公開サイト

01. 情報公開の現状と新サイトの特長



現在は

「JANPIAホームページ」「休眠預金活用事業サイト」「旧助成システム（Sales Force）」の3サイトで情報公開しています。

公開を目的とした形態であるため、情報検索などの機能が不足していました。

JANPIAホームページ



休眠預金活用事業サイト



旧助成システム(SFDC)



新サイトは、「ホームページ」「休眠預金事業活用サイト」「助成システム」から切り離れた以下の特長を持つ独立サイトとなります。

【新サイトの特長】

- ・助成システムとのデータ連携による、公開のスピードを向上
- ・検索機能・検索結果の絞り込み機能により、検索性を向上
- ・専用ウェブサイトとして視認性の高いデザインを実現

新情報公開サイト

イメージ図



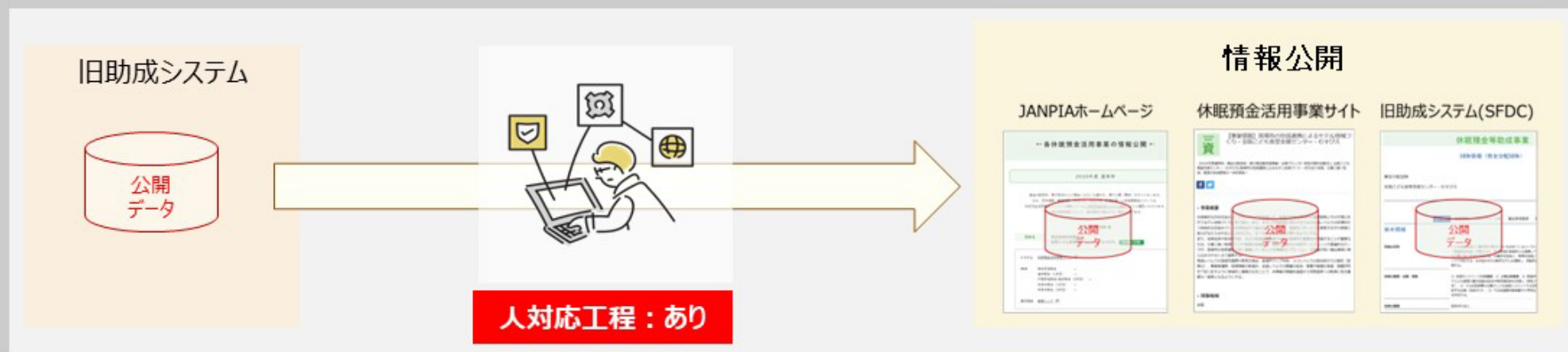
JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

02. 情報公開プロセスの改善

〈現行サイトの問題点〉

現在の助成システムの情報は自動公開されることはなく、公開前に必ず人対応の工程を経由して情報を公開しており、結果公開までに時間を要するなど弊害をもたらしていました。



〈対応内容例〉

- ・ 個人情報・機密性の高い事業情報の有無を人的に確認し、確認された場合は削除して公開
- ・ 公開可否を人的に確認し、必要があれば関係者に確認した上で公開
- ・ 様式等ファイルを公開用に整形して公開 等



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

02. 情報公開プロセスの改善

〈新システムの改善点〉

助成システムとのデータ連携により人的対応をなくすことで、スピーディーに情報を公開します。

助成システムで最終承認された情報は、公開可能情報として自動公開されます。

- 助成システムにおいて公開項目・非公開項目は明確に識別し、情報公開サイトには公開項目情報のみ連携します。
- **非公開** アイコンが付与された項目、見出し内の情報（添付ファイルも含む）が、非公開（情報公開対象外）の項目です。
(8月28日より対応。例を次ページに掲載)
- アイコンが付与されていない項目は公開対象となります。情報公開のタイミング*1で、最終承認されている情報を公開可能情報と判定し、情報を自動公開します。

助成システム



人対応工程：なし
(システム自動連携)

新情報公開サイト

イメージ図



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

02. 情報公開プロセスの改善

8月28日（月）から対応！

【参考】助成システムの「非公開」表示例

■項目単位で表示（基本）

(8)監査

年間決算の監査を行っているか **非公開**

(9)組織評価

過去3年以内に組織評価（非営利組織評価センター等）を受けてま

※非公開の添付ファイルも同じように「非公開」ラベルで表示しています。

■見出しで表示（表など見出し単位でまとめて非公開情報であることを表す場合）

(13)過去に休眠預金事業で助成を受けた実績 **非公開**

		対象		申請		左記で実行団体として申請中・申請予定又は採択された場合	
	■	年度	事業	種別・状況	申請中・申請予定又は採択された資金分配団体名	申請中・申請予定又は採択された事業名	
1	<input type="checkbox"/>	2019年度	通常枠	資金分配団体に採択			

03. 新「情報公開サイト」移行に伴い皆さまへのお願い

★「助成システム入力情報」の確認

皆さまが助成システムで入力した公開可能情報が最終承認を経て、新「情報公開サイト」で自動的に公開されます。

「個人情報」「公開できない情報」が含まれないようよろしくお願いします。

公開・非公開項目を助成システムの画面より確認し、必要に応じ修正をお願いいたします。

【追加のお願い】事業計画「活動対象地域」への都道府県の登録

新「情報公開サイト」では、「活動対象地域（都道府県）」を検索対象としています。

「活動対象地域」にエリアや市域のみが登録されている場合、新サイトでの検索性を高めるために、**都道府県の追加入力にご協力をお願いします。**

現在「活動対象地域」はフリーテキスト入力となっています。入力欄に、都道府県の入力をお願いいたします。

例) <修正前>「東海3県」 → <修正後>「東海3県（愛知県・岐阜県・三重県）」
<修正前>「福知山市域」 → <修正後>「京都府福知山市域」

青字のような形で
都道府県を追加してください。



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構



お願い

1 ・ 2 ・ 3

①JANPIAへの公募情報の連携

- JANPIAにも「実行団体の公募」のお問い合わせがよくきます。
- 公募情報をJANPIAでも「広く一般に公表」していきます。
- 公募開始の情報の連携をよろしくお願いします！

JANPIAのサイト

- お知らせ
- 実行団体の公募



②SNSでの情報発信での「#ハッシュタグ」

- SNS情報発信の際は、ハッシュタグをよろしくお願いします！

#休眠預金活用

Facebook 



フォロー、ぜひします！



③実行団体の「情報発信の基盤整備」

実行団体の事業計画策定時あるいは見直し時等でアドバイスする際にご検討いただきたいこと

- 実行団体の中には、「ウェブサイトがない!」「SNSをやっていない!」など情報発信の基盤が整っていない例があります。
- 本事業の情報公開に要するの費用（Web制作、シンボルマーク掲出に係る費用など）も計上可能です。
- 情報発信は実行団体の事業継続性などの観点から重要な要素です。
- **実行団体が継続可能な形での「情報発信の基盤整備」の検討を、よろしくお願いいたします。**

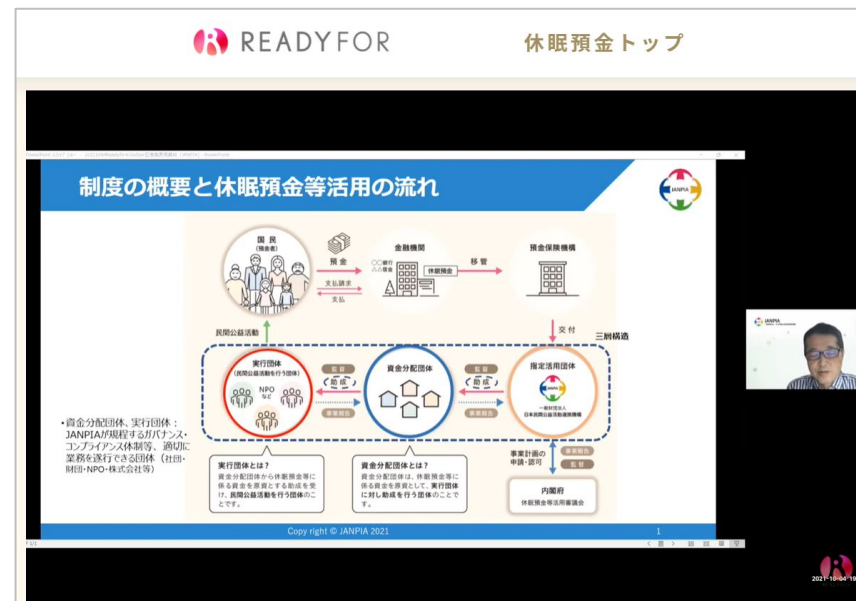
最後に

！ JANPIA 企画広報部をぜひ活用ください

- ・プレスリリースの事前確認（文言の確認など）
- ・プレス発表のお手伝い（休眠預金活用事業の全体の説明） などなど



実行団体 よしもとラフ&ピース
（株）外国人記者クラブでの
休眠預金活用事業の発表



READYFOR
公募に関するメディア向け発表での
休眠預金活用事業の説明

！ JANPIA 企画広報部をぜひ活用ください

- ・ 休眠預金活用事業サイトでは、「取材」はもとより「イベント告知」「成果物掲載」等も行っています。

[イベント紹介]

2023年03月14日 公開 イベント07

イベント 3/22(水)

社会変革推進財団 (SIIF) 主催「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」成果報告会 (オンライン開催) のご案内

休眠預金活用事業に係るイベント・セミナー等のご案内ページです。今回は、一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF) が主催する「『地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業』成果報告会 (オンライン開催)」を紹介いたします。

f t

・ 「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」成果報告会

3/22 [水] Online Event 12:30-14:00

SIIF Social Innovation and Investment Foundation 社会変革推進財団

休眠預金事業の成果を考える

地域を活性化させる
ソーシャルビジネスの挑戦

PANEL DISCUSSION

御蔵川 森山 崇美
Rennovater 松本 知之
Ridlover 安部 敬樹

一般財団法人社会変革推進財団 (SIIF) は、JANPIAが提示する「優先的に解決すべき社会課題」のうち、「地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援」に

気になるワード

休眠預金活用事業サイト

制度の間にある
外国人の医療支援を担う

活動スナップ
「SDGs達成に貢献する ボランティア・プロボノセミナー」...

メディア掲載
休眠預金活用 メディア掲載情報_no.26

2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (4次) 資金分配団体が決定!

2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (4次) 資金分配団体が発表!

JANPIAの活動
2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分...

JANPIAの活動
2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分...

Home

最新の投稿

休眠預金活用とは

巨大災害における雇用対策 ——災害社会科学から学ぶ | 日本労働研究雑誌 2022年12月号 (No.74)...

団体の活動

休眠預金活用事業に取り上げられた論文を紹介する「論文紹介」。今回は...

JANPIAの活動

JANPIA 広報担当 | 8 views

2023/03/14 16:30

業務改善活動

社会変革推進財団 (SIIF) 主催「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」成果報告会 (オ...

関係者インタビュー

休眠預金活用事業に係るイベント・セミナー等のご案内ページです。...

活動スナップ

JANPIA 広報担当 | 11 views

2023/03/14 13:19

成果物・レポート

「誰ひとり取り残さないために災害時に向けて平時からできること ~ネットワークの重要性...」

イベント・セミナー

JANPIA主催 | 休眠預金活用事業「課題・テーマ別ラウンドテーブル」第...

メディア掲載

JANPIA 広報担当 | 28 views

2023/03/10 17:37

論文紹介

2022年度コロナ・物価高騰対応支援枠 (随時・4次) 資金分配団体が発表されました

実行団体の公募情報

ランキング

教えて！「休眠預金活用」っていったい何？
事務局長に聞きま...

休眠預金活用事業サイト 第2版第2部

JANPIA主催「休眠預金活用事業・調査研究シンポジウム」...

JANPIA 広報担当

社会変革推進財団 (SIIF) 主催「地域活性

いつでもお問い合わせください！

メール

info@janpia.or.jp

電話

03-5511-2026（企画広報部 直通）



情報発信の際は、ハッシュタグ「#休眠預金活用」！